

学校関係者評価委員会議事録

学校法人せとうち

日本 IT ビジネスカレッジ

1. 日時 令和 4 年 9 月 27 日（火） 16 時～17 時
2. 場所 日本 IT ビジネスカレッジ 201 教室
3. 参加者

武久顕也	瀬戸内市長
萩原康正	岡山県立邑久高等学校校長
平田眞一	岡山県専修学校各種学校振興会 会長
中島義雄	株式会社システムズナカシマ代表取締役（オンライン出席）
畑憲一	司法書士 学校法人せとうち顧問（オンライン出席）
大西秀樹	株式会社 SUMAIZU 代表取締役
宮尾亜紀	医療法人閑谷会総務課長
野崎寿	牡蠣の家しおかぜ代表
船岳英之	長船日本語学院事務長（学校関係者評価アンケートのみ回答）
田中 旬一	理事長
橋口 博州	副理事長
山中 孝志	校長

4. 審議内容

- 1) 参加者自己紹介
- 2) 田中理事長挨拶
 - コロナ化で V 字回復したい。
 - 学生評価（アンケート）と自己点検（職員アンケート）は実施済み。今日は学校関係者評価を実施したい。改善のきっかけとしたい。
- 3) 自己点検の共有に関する質疑
 - ◇ 国家試験合格率の向上が図られているか、という質問は検定試験の合格率、と聞くべきである。
 - 留学生なら JLPT、国際ビジネスなら IT パスポート等。
 - 介護福祉学科は国家試験でよい
 - ◇ 外部環境が厳しい中、何とかよくやっているのでは。
 - ◇ 5 年目は問題が顕在化する時期ではないか。一つ一つ芽をつぶしていっていけばよいのではないか。

- ☆ いまは根を張っていく時期では。ある程度のネガティブ評価は致し方ない。教職員がしっかりやっていければと思います。
- ☆ データは見えるものが限られる。教職員の定性評価がないのでコメントはしがたい。
- ☆ アンケートは6～7割がポジティブであればよいと思う。個別設問で厳しいものも数個あるが、中国デザインでの自己点検とそう大きく変わらない。
- ☆ 理念は賛同も、実行が伴いにくいのはコロナ禍など原因があるので運営側でしっかり対応していくべきかと
- ☆ コロナ禍がなければと思うところですが。。V字回復は大丈夫ですか？
 - (田中理事長「大丈夫です」)

4) 収支について

- ☆ 2023年度の前受け金、留学生や日本人の人数も把握しないと何とも言えない。専門学校は補助金がない。授業料は年2回、新入生の前受け金も早めにはいるのでCFは回る。
- ☆ 2022年度赤字決算で岡山県から検査が入ることがあるのか
 - その他条件もあるが、3年以上赤字が続いた場合、奨学金対象から外れる可能性がある。

5) その他

- ☆ リーフレットをシンプルに。日本人高校生向けに。
- ☆ 日本人の学生を集めるべき。国際交流ができる学校
- ☆ 日本人学生への募集強化と、理念を職員にしっかり浸透させるように。
- ☆ ふるさと納税などの制度を活用してほしい。
 - ・ 留学生の感謝の集いを行うなどしてサポーターを増やしていく活動を繰り返す。